

令和7年度 福祉教育推進セミナー 開催要項

—未来をひらく連携のヒント—

1 目 的

福祉教育の目的は、「地域共生社会の実現とその担い手づくり」であり、そのためには地域や社会で今まさに生じている課題に対して、子どもたちが直接関わりながら学習を進め、立場の異なる様々な人と一緒に課題に取り組む「福祉観」や「実践力」の育成が求められます。これは、学習指導要領の基本理念のひとつである「社会に開かれた教育課程の実現」に通じるものであり、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育もうとするものです。

この目的達成のためには、学校、地域、社協が、それぞれの利点を生かしながら連携、協働を図り、さらに強めていく必要があります。そこで本セミナーは、それぞれの関係者が福祉教育推進のための意見や情報を交換し、連携・協働のあり方について改めて考えることを目的に開催します。

2 主 催

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会

3 後 援 <予定>

茨城県、茨城県教育委員会、茨城県学校長会、茨城県高等学校長協会、茨城県 PTA 連絡協議会

4 日 時

令和7年11月11日(火) 13:15~16:00 (受付:12:45~)

5 会 場

茨城県立健康プラザ 3階大会議室
水戸市笠原町993-2 いばらき予防医学プラザ内

6 対 象

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教職員、市町村社会福祉協議会関係者(社協職員、地区社協役員等)、教育委員会・教育機関関係者、行政関係者、ボランティア・市民活動関係者、福祉教育やボランティア活動に関心のある方、生活支援体制整備事業の関係者 など

7 定 員

70名(先着順、定員となり次第締め切りとさせていただきます)

※お申し込み後、特に本会から連絡がない限り、参加可能と御判断ください。

8 参加料

無 料

9 申し込み方法

以下の URL より申し込みフォームにアクセスし、必要事項を入力して令和7年11月4日(火)までにお申し込みください。

<https://forms.gle/tbDiUZ6xxs6hWeSv7>



10 日程及び内容

時 間	内 容
12:45～	受付
13:15～13:30	開会 主催者及び来賓挨拶
13:30～13:45	【プロローグ】 ―連携が育む豊かな学び―
13:45～14:45	【事例報告】 (報告1) 茨城県立中央高等学校 教諭 青葉 仁子 氏 茨城県立中央高等学校では、選択科目「生活と福祉」において、小美玉市社会福祉協議会と連携して特色のある授業を行っています。連携のきっかけや、生徒と地域が交流し学ぶ実践について報告いただきます。 (報告2) For Everyone Study 代表 植竹 智央 氏 植竹氏は、オンラインでの不登校児童生徒支援や、ICTを活用した学習支援等の分野での多様な取り組みの中で、“つなぎ役”として地域や学校、家庭、その他の居場所をつないできました。社会教育の視点から学校や地域とのコーディネート事例について報告いただきます。 (報告3) 神栖市社会福祉協議会 福祉専門幹 橘田 勝 氏 神栖市社会福祉協議会では、「高校生の進路アシストカレッジ」として、福祉・保育・医療分野への進学・就職を志す高校生を対象に、職場での実習体験や専門職の先輩の仕事に触れることができる講座を開催しています。本事業や地域のネットワーク構築、地域で活躍する人材の育成について報告いただきます。
14:45～14:55	休憩
14:55～15:45	【グループワーク】 ―未来をひらく連携のヒント― 事例報告者と意見交換しながら、学校、地域、社協等それぞれの視点を持ち寄って連携・協働のヒントを探ります。
15:45～16:00	【エピローグ】 ―これからに向けて―
16:00	閉会

11 モデレーター

茨城県ボランティアセンター運営委員会委員長
茨城キリスト教大学 非常勤講師 池田 幸也 氏

12 その他

市町村名・所属・役職・氏名を記載した参加者名簿を、当日配付します。申し込みフォームに記載された個人情報につきましては、本セミナーの運営のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

13 問合せ先

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 福祉のまちづくり推進部 花園
〒310-8586 水戸市千波町 1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内
TEL: 029-243-3805 FAX: 029-241-1434 E-mail: handchan1@ibaraki-welfare.or.jp